



## NEWS RELEASE

報道資料

2018年11月16日

(日本時間)

アプライド マテリアルズ 2018 年度第 4 四半期および通年の決算を発表

- 四半期売上高：40 億 1,000 万ドル、  
四半期 1 株当たり利益：GAAP ベースで 0.89 ドル、非 GAAP ベースで 0.97 ドル
- 通年の売上高と 1 株当たり利益は過去最高
- 2018 年度の株主還元：58 億 9,000 万ドル

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq : AMAT、本社：米国カリフォルニア州サンタクララ、社長兼 CEO ゲイリー・E・ディッカーソン) は 11 月 15 日 (現地時間)、2018 年度第 4 四半期および通年 (期末：2018 年 10 月 28 日) の決算を発表しました。売上高、営業利益、1 株当たり利益はいずれも堅調でした。

### 第 4 四半期の業績

第 4 四半期の売上高は 40 億 1,000 万ドルで、前年度第 4 四半期をやや上回りました。GAAP ベースでは、粗利益率が 44.3%、営業利益は 10 億 2,000 万ドル (売上高の 25.3%)、GAAP ベースの 1 株当たり利益は 0.89 ドルでした。

非 GAAP ベースでは、粗利益率が 45.5%、営業利益は 10 億 7,000 万ドル (売上高の 26.6%)、1 株当たり利益は 0.97 ドルでした。

第 4 四半期には 9 億 4,600 万ドルを株主へ還元しました。内訳は株式買い戻しが 7 億 5,100 万ドル、配当金が 1 億 9,500 万ドルです。

### 通年の業績

2018 年度通年では、売上高が 19%伸びて 172 億 5,000 万ドルとなりました。GAAP ベースでは粗利益率が 45.3%、営業利益は 48 億ドル、1 株当たり利益は 3.23 ドルでした。非 GAAP ベースでは、粗利益率が 46.3%、営業利益は 50 億ドル (売上高の 29.0%)、1 株当たり利益は 4.45 ドルでした。

2018 年度の営業活動によるキャッシュフローは 37 億 9,000 万ドルで、配当金の支払いに 6 億 500 万ドル、普通株式 1 億 200 万株の買い戻しに 52 億 8,000 万ドルを投じています。

社長兼 CEO のゲイリー・ディッカーソンは次のように述べています。「2018 年度は下半期に市況の減速がみられたものの、すべての主要事業部門で 2 桁の成長を遂げることができました。市場は短期的には向かい風があるものの、業界全体の投資は依然として堅調です。当社は長期的な視点に立ち、AI・ビッグデータ時代でのさらなる大きな役割を担うべく、きたるべきテクノロジーの大きな転換期での確実な成長を目指しています」

## 業績概要

	2018 年度		2017 年度		増減	
	第 4 四半期	第 4 四半期	2018 年度	2017 年度	2018 年度 第 4 四半期 vs. 2017 年度 第 4 四半期	2018 年度 vs. 2017 年度
(単位：100 万、1 株当たり数字と比率を除く)						
売上高	\$ 4,014	\$ 3,969	\$ 17,253	\$ 14,537	1%	19%
粗利益率	44.3%	45.0%	45.3%	44.9%	(0.7) ポイント	0.4 ポイント
営業利益率	25.3%	27.7%	27.8%	26.6%	(2.4) ポイント	1.2 ポイント
純利益	\$ 876	\$ 982	\$ 3,313	\$ 3,434	(11)%	(4)%
希薄化後 1 株当たり利益 (EPS)	\$ 0.89	\$ 0.91	\$ 3.23	\$ 3.17	(2)%	2%
<b>非 GAAP ベースの業績</b>						
非 GAAP ベースの粗利益率	45.5%	46.2%	46.3%	46.1%	(0.7) ポイント	0.2 ポイント
非 GAAP ベースの営業利益率	26.6%	28.7%	29.0%	27.9%	(2.1) ポイント	1.1 ポイント
非 GAAP ベースの純利益	\$ 956	\$ 1,005	\$ 4,569	\$ 3,525	(5)%	30%
非 GAAP ベースの希薄化後 EPS	\$ 0.97	\$ 0.93	\$ 4.45	\$ 3.25	4%	37%

本リリース末尾の財務諸表中に「GAAP と非 GAAP データの差異調整表」を掲載しています。このほか、後出の「非 GAAP ベースの財務指標の利用について」の項もご参照ください。

## 事業展望

2019 年度第 1 四半期の売上高見通しは、35 億 6,000 万ドル～38 億 6,000 万ドルの範囲を見込んでいます。その中央値は、前年同期を約 12% 下回ります。非 GAAP ベースの希薄化後 1 株当たり利益は、0.75 ドル～0.83 ドルの範囲を予想しています。その中央値は、前年同期を約 25% 下回ります。

非 GAAP ベースの希薄化後 1 株当たり利益の予測では、完了した買収に関する既知の費用 1 株当たり 0.01 ドル、株式ベース報酬に対する平準化後の税控除額 1 株当たり 0.04 ドル、および無形資産のグループ会社間移転に関する所得税控除額 1 株当たり 0.02 ドルを除外していますが、現時点で未知の項目（買収に関連する追加費用やその他の営業外項目および特殊項目など）、その他の税関連項目などについては、本来的に不確定性が高く、過大な努力を払わない限り予測が難しいため反映していません。

#### 第 4 四半期および通年のセグメント別業績

半導体システムズ	2018 年度	2017 年度	2018 年度	2017 年度
	第 4 四半期	第 4 四半期	2018 年度	2017 年度
	(単位：100 万、比率を除く)			
売上高	\$ 2,309	\$ 2,431	\$ 10,903	\$ 9,517
ファウンドリー	23%	36%	24%	41%
DRAM	26%	12%	27%	16%
フラッシュ	34%	38%	36%	34%
ロジックその他	17%	14%	13%	9%
営業利益	638	801	3,634	3,173
営業利益率	27.6%	32.9%	33.3%	33.3%
<b>非 GAAP ベースの業績</b>				
非 GAAP ベースの営業利益	\$ 684	\$ 847	\$ 3,817	\$ 3,357
非 GAAP ベースの営業利益率	29.6%	34.8%	35.0%	35.3%
<b>アプライド グローバル サービス</b>				
	(単位：100 万、比率を除く)			
売上高	\$ 977	\$ 831	\$ 3,754	\$ 3,017
営業利益	289	232	1,102	817
営業利益率	29.6%	27.9%	29.4%	27.1%
<b>非 GAAP ベースの業績</b>				
非 GAAP ベースの営業利益	\$ 290	\$ 232	\$ 1,104	\$ 821
非 GAAP ベースの営業利益率	29.7%	27.9%	29.4%	27.2%

ディスプレイ・アジェイセント マーケット	2018年度 第4四半期	2017年度 第4四半期	2018年度	2017年度
	(単位: 100 万、比率を除く)			
売上高	\$ 702	\$ 677	\$ 2,498	\$ 1,900
営業利益	202	212	679	502
営業利益率	28.8%	31.3%	27.2%	26.4%
<b>非 GAAP ベースの業績</b>				
非 GAAP ベースの営業利益	\$ 206	\$ 215	\$ 694	\$ 507
非 GAAP ベースの営業利益率	29.3%	31.8%	27.8%	26.7%

#### 非 GAAP ベースの財務指標の利用について

アプライド マテリアルズは、一部の項目について投資家の皆様に非 GAAP ベースの業績もお伝えしています。これは一部のコスト、経費、または損益項目の影響を除外するよう調整したもので、この中には統合・買収に関連する一部の項目、リストラクチャリング費用とそれに関連した調整、資産減損または投資、戦略的投資の売却損益、株式ベース報酬の税効果、一部の法人税項目やその他の個別調整などが含まれます。さらに、2018 年度第 4 四半期および通年の非 GAAP ベースの業績では、最近の米税制改正に伴う個別の法人税費用項目の予想額が除外されています。こうした非 GAAP ベースの数値と、GAAP（一般会計原則）に基づいて算出・表示された最も直接比較し得る財務数値との差異調整方法は、本リリースの財務諸表中に示されています。

当社の経営陣は、営業成績や財務成績の評価と計画立案のため、ならびに役員報酬プログラムの評価基準として、非 GAAP ベースの業績を用いています。こうした財務指標は、当社の業績全般に対する理解を助け、投資家の皆様が経営陣と同じ視点に立って当社の事業を検討することを可能にするとともに、当社の継続的な事業成果とは性格が異なると判断される項目を除外することで、過去の会計期と当期の業績を一貫性のある形で比較することが容易になると考えています。これらの財務指標は一般会計原則として受け入れられている GAAP に沿ったものではなく、他社の用いる非 GAAP ベースの会計手法とは異なる場合があり、また当社の会計報告における財務業績に重大な影響を及ぼし得る一部項目が除外される場合もあるため、非 GAAP ベースの財務指標は限定的に利用するものとし、この追加情報は独立して考慮されることを意図したのではなく、この提示をもって直接比較可能な GAAP に基づく業績データを代替するものではありません。

## 将来予想に関する記述について

本プレスリリースには、当社の事業や市場の成長予測とトレンド、業界見通しと需要拡大要因、テクノロジーの遷移、当社の事業・財務成績および市場シェア、資本配分、投資・成長戦略、新製品とテクノロジーの開発、2019年度第1四半期の事業展望など、将来の見通しに関する記述や、過去の事実には該当しない記述が含まれています。こうした記述やその前提をなす仮定はリスクや不確定要素に左右され、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。こうした記述が明示ないし黙示する帰結と実際の結果の間に大きな違いをもたらし得る要因としては、当社製品への需要水準；グローバルな経済・業界動向；グローバルな貿易問題および貿易政策の変更；エレクトロニクス製品に対する消費者の需要；半導体への需要；技術や生産設備に対する取引先企業のニーズ；新たな革新的テクノロジーの導入とテクノロジー移行のタイミング；当社が新しい製品やテクノロジーを開発・提供・サポートする能力；当社顧客ベースの集約傾向；当社が既存市場を拡大してシェアを伸ばし新規市場を開拓する能力；既存ならびに新開発の製品に対する市場の受容性；当社が主要テクノロジーに関する知的財産権を取得ならびに保護する能力；当社が業務および戦略的イニシアティブの目的を達成し、リソースとコスト構造を事業環境に適合させ、主要社員を引き付けて意欲を高め定着させる能力；製品やセグメント間での営業費用や業績のばらつき、および当社が将来の業績・市況・取引先の要求・ビジネスニーズを正確に予測する能力；米税制および規則の改正とそれに対する当社の解釈；当社が証券取引委員会（SEC）に提出する書類（最新の Form 10-Q および 8-K 報告書を含む）に記載しているその他のリスクや不確定要素などがあります。将来の見通しに関する記述はすべて本プレスリリース発表時点における経営陣の推定、予測、仮定に基づくものです。アプライド マテリアルズは将来の見通しに関する記述を更新する義務を負っておりません。

アプライド マテリアルズ (Nasdaq: AMAT) は、マテリアルズ エンジニアリングのソリューションを提供するリーダーとして、世界中のほぼ全ての半導体チップや先進ディスプレイの製造に寄与します。原子レベルの材料制御を産業規模で実現する専門知識により、お客様が可能性を現実に変えるのを支援します。アプライド マテリアルズはイノベーションを通じて未来をひらく技術を可能にします。

詳しい情報はホームページ: <http://www.appliedmaterials.com> でもご覧いただけます。

\*\*\*\*\*  
このリリースは 11 月 15 日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:中尾 均)は 1979 年 10 月に設立。大阪支店のほか 14 のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社 (Tel: 03-6812-6801)

ホームページ: <http://www.appliedmaterials.com>

---